

第66期 CSR委員会活動報告会

2021年11月15日(月)、第66期CSR委員会活動報告会を開催しました。
今期もTeamsを利用したウェブ形式とし、各分科会に1年間の活動報告をしてもらいました。



発表の様子(本社)

地域社会貢献分科会

コロナ禍において各種活動が制限され、思ったような活動が出来ませんでしたので、今後は有事の際でも継続的に行える活動や新たな活動を検討していきます。



◀孤児院へ当社名入りのバックパックを寄付(アメリカ)

こんなことやりました!(各拠点の活動状況)

	拠点	実施内容
国内	本社	写真ニュース提供(明石小学校)
	関東	献血、安全運転教育の実施
	関西	ペットボトルキャップ集め、使用済み手収集
	豊橋	ペットボトルキャップ集め、自動販売機の収益金の一部を毎月寄付
海外	フィリピン	ICT支援、プリンター寄付 ※ICT= Information and Communication Technology (情報伝達技術)
	インドネシア	近隣の村へマスク寄付
	タイ	アユタヤ自治体用 COVID-19 病床用段ボールの寄付、献血活動
	アメリカ	孤児院へのバックパック寄付/イベント参加

環境保全分科会

コロナ禍で活動推進が困難であったことから、SDGsについての勉強会を行い、当社でできる取り組みを検討しました。

今期の主な活動

SDGs活動	①SDGsの勉強会 ②SDGsの取り組みと提案
生物多様性活動	①草加市役所 環境課との連携活動 ②海外拠点の活動調査と情報展開
使用済み切手の回収	
エコキャップ活動	

目標12に「持続可能な消費と生産」

当社で使用しているコピー用紙を100%古紙原料のリサイクル紙に変更することで市場の廃棄物削減及びCO₂の削減に貢献できると考えます。また、工場で使用している緩衝材をリサイクル商材に変更する事で、廃プラスチックの削減に貢献できると考えます。

雇用・労働分科会

2019年に開催したファミリーデーについて、継続的に実施可能な内容の検討を行いました。また、SDGsの17項目に沿って、当社ができる取り組みを整理しました。

SDGsの理解と会社の関わり

目標	会社のあり方に関わるもの	製品やサービスに関わるもの
3 すべての人に健康と福祉を	●歩行促進週間の実施(提案)	●MH事業を拡大し、健康と福祉に貢献する(実施中)
5 ジェンダー平等を実現しよう	●女性が活躍できる環境づくり(実施中)	
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	●太陽光発電設備等クリーンエネルギーの導入、CO ₂ 排出量の削減(提案)	●蓄熱素材など省エネルギーに関する製品の開発、二次電池事業の推進(実施中)
8 働きがいも経済成長も	●ワークライフバランスの向上、テレワーク推進等で働きやすさを(実施中) ●資格取得奨励により自発的スキルアップを支援、働きがい向上(提案)	
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	●表彰制度の導入によりアイデアの発掘、イノベーションを促す(提案)	
10 人や国の不平等をなくそう	●多様な人材が活躍できる企業風土の実現(実施中)	
12 つくる責任 つかう責任	●再生可能エネルギーの導入、運送効率の改善=CO ₂ 排出削減(提案)	●不良低減、歩留まり向上、廃棄量の削減(実施中)
13 気候変動に具体的な対策を		●環境負荷物質の管理、環境にやさしい材料の販売(実施中)
14 海の豊かさを守ろう		
15 陸の豊かさを守ろう	●環境分科会の活動(実施中)	●生分解性プラスチック事業の推進(実施予定)

総評

村澤委員長

SDGs17項目のうち、複数の分科会に該当する項目がある。また実務でやるべきことと分科会の活動が重なっていることがある。実務でやるべきことは、組織の取り組みに落とすなど、すみ分けをすることで、今後は活動の焦点を絞ることができると思う。

金邊座長

このような時期に活動を継続していただいたことを嬉しく思っている。活動するからには、グローバルに活動を展開し、企業イメージの創出へと紐づける取り組みをしていきたい。そのために私自身が方向性を示せるようにしたい。また、世界的な電力不足の状況で、どうすれば安定的に電力を受給できるか、省エネ、蓄電を含めて、地域にも展開できるような活動ができればいいと思う。